



グローバル探究ライフ

コンフォートゾーンから飛び出すことで、学校生活ではできない出会いや体験ができるのが留学。その経験者たちに、リアルな留学ライフと気持ちの変化について語ってもらうシリーズです!

File No.5



中村泉咲さん (21歳)
上田西高校(長野・私立)卒業

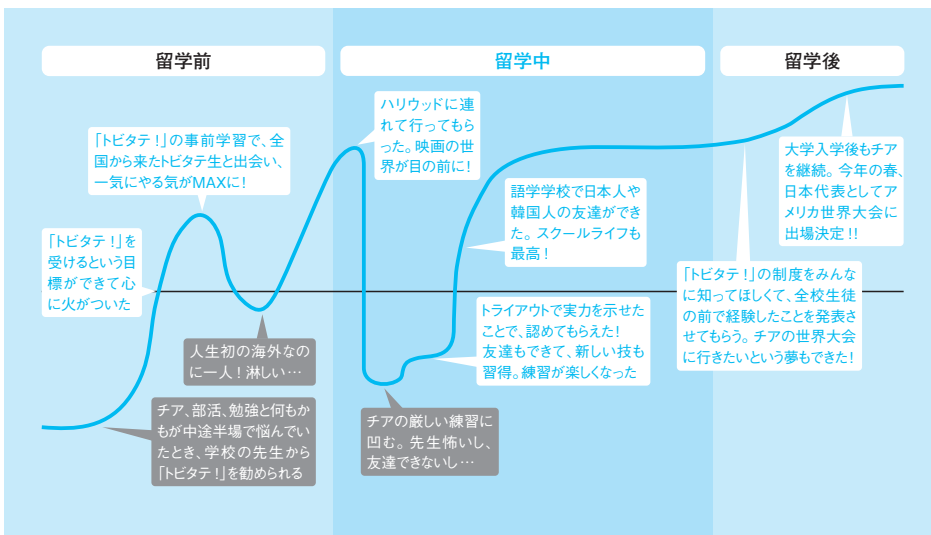
小学4年生のときにチアリーディングと出会う。留学をきっかけに、現在は日本代表入りを目指すチアを精進する傍ら、チアで怪我をした経験から人を助ける仕事を志し、上武大学ビジネス情報学部スポーツ健康マネジメント学科で、救急救命士になるために勉強中。

煮詰まっていた自分に先生が留学を勧めてくれた

小学生のときから続けていたチアリーディング。学校外の活動だったため、高校に入ると、部活と勉強、チアの並立に悶々とする日々。そのときに、学校の先生が「トビタテ！」でチア留学することを勧めてくれたのです。選抜面接の際も、「チアはあなたにしかないPRポイント。思い切りアピールしてこい」と。先生たちが全面的にバックアップしてくださり、面接ではバク転も披露しました(笑)。

留学先は強豪で有名な「カリフォルニアオールスターズ」というチーム。新しい技や、難しい技をこなすコツが身につく急成長を実感。一方で、もっとレベルアップして世界に通用するチアリーダーになりたい、日本代表として世界大会に参加したいと強く思うようになりました。

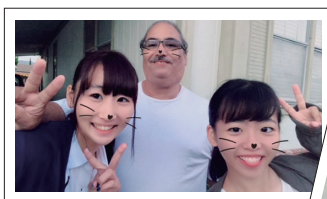
学校の先生が留学を勧めてくれなかったら、チアはやめていたかもしれません。「トビタテ！」のような補助金を頂いてやりたいことを学べる制度を知ること、夢を諦めずに済む生徒が大勢いると思います!



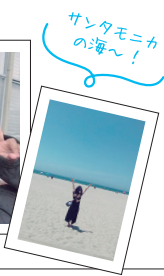
DATA

- 【留学した年齢】17歳
- 【留学した国】アメリカ
- 【留学期間】高校2年の8月に約1か月間
- 【留学内容】チアリーディングの習得と語学留学
- 【留学しようとおもったキッカケ】チアも学校も中途半端で悩んでいたときに、学校の先生が「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」*を勧めてくれた

*「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」(以下、文中では「トビタテ!」)とは文部科学省が官民協働で留学促進を展開するキャンペーンによる留学支援制度。



ホストファミリーのお父さんと。祖父が書道の先生であったことから一緒に書道もしました。



語学学校の先生と。テストが多く勉強は大変でしたが、仲間と一緒に乗り越えることができました。

語学学校も無事卒業!



所属している社会人チアリーディングチーム「MTD Delights」が、一昨年のチアリーディングの全国大会で見事1位に!

昨年、オーストラリアで行われた国際大会に招待され、2位を受賞。



カリフォルニアオールスターズの練習場。最初は基礎トレーニングばかりで辛かったけれど、実力を知ってもらってからは仲間として受け入れられました!



語学学校の仲間たちと。日本人や韓国人が多く友達がたくさんできて、いろいろなところ遊びに行きました!

